

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス トラスト鶴見				公表日	2025年 4月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		日によって利用者の人数が変わるのでスペースを有効につかっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			子供達が同じ事をしている時はもう少しスタッフが欲しい時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			トイレ回りのスペースをもう少し広くしていきたいと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		全体を見わたせるようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		状況に合わせて工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	送迎時に保護者の方との報告事項だったりその日の状況をお伝えしているが全員のスタッフでまわしていききた。	把握できていないスタッフがいる全員に周知できるようにする。保護者がどのように感じておられるかを共有しながら改善すべき点はもちろん高評価された所はスタッフの意欲につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼・昼礼などで意見等は確認している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		把握できていないスタッフもいて全員の周知と改善に努める。	
適切な支援の提	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内外での研修の機会があり支援につなげている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに記載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		送迎時に保護者の方とお話をして機会を作っている。	送迎時以外にも方法も考えていきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		スタッフから子ども達の情報を共有し作成につなげている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		具体的な支援方法を示し統一した支援をおこなっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	設定している。	今後は地域の交流や支援を増やしていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		スタッフの声を聞きプログラムを作っている。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		スタッフで色々な視点からみて工夫している。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		その日の子どもの情報や連絡帳等を確認し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼や昼礼でその日の支援は確認できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	共有できるように申し送り帳を活用している。	送迎終わりにスタッフにすべては共有できていないときもある感じがあるので確実にしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		スタッフからの情報や親御様からの話を聞き改善出来ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		方向性や計画等は都度判断し適切な見直しが出来ている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	週替わりに活動をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子ども達が意見を出し合いながら話す機会や選択できる子供会議をおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援事業所を使っている家庭は少ない。	相談支援事業所を使えるようにすすめています。相談事業所と繋がりを深めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		全員ではないが学校や病院での連携はできている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校等は情報共有はできている。確認等もお迎え時も確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		情報共有はあまりできていない。今後は繋がってきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		提供できている部分はあるが、全てではない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		今後は他の事業所の方々と連携をとっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		現在はできていないが、交流はしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		現在はできていないが、参加はしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に保護者の方に状況を説明している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		情報提供はできているが研修の機会は無い。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明はしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		懇談会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		説明は行い計画している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		悩み等には支援や相談は出来ている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		保護者会はないが、皆様の意見を聞き方向性を決めていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6	出来る限りは対応できている。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6	毎月トラスト通信というお渡ししている。HPやInstagramで活動報告している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6	特に注意をしている。		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6	常におこなっている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		地域交流はできていない。今後はできる様に連携を図っていきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		6	マニュアルは全て作成している。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		6	避難訓練は適度の頻度で実施している。	避難訓練以外も訓練していきたい。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		6	家族の方から確認はできている。		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6	アレルギー情報も確認している。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		6	安全計画を作り支援している。	まだ足りていない部分もあるので、実施していきたい。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		6	ヒヤリハットは実施している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		5	1	虐待防止のミーティングはしている。	外部の研修会を実施していきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		6		医療関係や学校、保護者との連携をし理解して頂いた上で計画に記載している。		